

令和元年6月21日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時31分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 原 道子
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	原 道子
○	教育委員	山内 みどり
○	教育委員	渡辺 優子

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|--------|
| 教育部長 | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 生涯学習課長 | 小島 孝紀 |
| 教育総務課指導班長 | 寺口 瑞紀 |
| 教育総務課指導班主幹 | 永井 貴幸 |
| 教育総務課指導班主幹 | 境野 朋美 |
| 教育総務課教育総務班長 | 竹本 直昭 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 込山 久美子 |
- 7 傍聴者 なし
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 込山 久美子

1 開会宣言

(教育長) 令和元年度6月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

原委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 6月政策会議報告、令和元年第2回二宮町議会報告を資料に基づいて行う。

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- (山内委員) 何点かあります。まず、「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」の開催についてお聞きします。例年8月5日の二宮での機銃掃射の当日に実施していたと思います。今年は、5日が月曜日で生涯学習センターの休館日なので、翌6日に行うということでしょうか。2点目は、山西小学校の児童がラディアンを見学したということで、舞台裏など普段見られない裏側を見られると、子どもはとても興味を持って、よい取り組みですので、継続をお願いします。3点目は、高山村との交流イベントの内容を教えてください。
- (教育長) 「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」については、ホールのほか各部屋等を用いることから、開館日での対応としました。高山村との交流事業は、例年同様に、梅沢海岸で地引網等を行うということです。
- (原委員) 学校運営協議会の活動が始まる中、「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」で、二宮西中学校が地域の方が参加予定というのは、良いことだと思いました。今年から学校運営協議会が始まった一色小学校以外の学校の様子はどうでしょうか。
- (教育総務課長) 各学校とも、まだ手探りの部分もありますが、山西小学校では、子ども達の見守りについての取り組みに動きだしているということです。今後、協議会の取り組みが進む中で具体的な動きが始まってくると思います。
- (原委員) あせらずに進めていただければと思います。各学校でどのように取り組んでいるのか、校長会などで情報交換をして、こういう良さがあつたというようなことを共有したら、学校側が地域との壁を低くしていくことにつながるのではないのでしょうか。
- (教育長) 始まったばかりのコミュニティ・スクールの取り組みもそうですが、学校と地域で協力体制を作っていこうという姿勢で企画したりすることが必要だなと感じます。
- (原委員) 小中一貫教育校の説明会でお話する時間をいただきますが、一色小学校区地域再生協議会でお話をしたときの感想で、「『コミュニティ・スクール』とは？」というものがありません。小中一貫の説明をする際には、コミュニティ・スクールについても、少

し触れたいと思います。

- （教育長） 議会報告の中にありました英語教育についてですが、小学校の社会科副読本「わたしたちの二宮」の英訳についての話題がありました。先日の図書館協議会で、以前発行した「二宮かるた」について、例えば、二宮高校生の力で英訳できないかという話もありました。社会科副読本の全文英訳というとなかなか難しいかもしれませんが、郷土に関する資料に外国語が少しずつでも入ると、町を紹介するのに良い資料になると思います。関連になりますが、地元の方が出版された出した冊子「ちょっと昔の二宮の暮らし」を小学校で利用できるよう教育委員会で準備しました。また、「ひとしづく」という冊子を中学校に寄付していただくお話もあります。地域の歴史を調べる上での参考資料として活用できると良いと思います。

学校の安全についてです。5月21日の大雨の際に、休校の判断が町内各校で別れてしまいました。臨機応変な判断も大切ですが、統一した判断基準を明確にすることも必要です。今後に向けて判断基準を持つように話をしています。

- （渡辺委員） 引取訓練について、中学生が広域避難所まで集団下校するということでした。「広域避難所までのルート上に自宅があるのに、一度避難所まで行くのか」という疑問を保護者から聞きました。前回の教育委員会議では「中学生は地区の中で活動する力になる」という考えが示されましたが、保護者に対して「何故広域避難所に行くのか」という説明が十分されているだろうか、中学生に対しては話があるのかなと思いました。
- （教育総務課長） 中学生の動きについては、引き続き課題になっている部分です。集団下校では、広域避難所の場所を知るという意味でも、一度避難所まで行く形で行いました。中学生の今回の訓練の反省点を踏まえ、今年度中に教育委員会としての考え方を示せるよう、議論していきたいと考えています。

4 付議事項

(1) 議案第10号 二宮町生涯学習センターの設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)について

(2) 議案第11号 二宮町体育施設の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)について

(生涯学習課長) 二宮町生涯学習センターの設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)及び二宮町体育施設の設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)について資料に基づいて説明

意見等特に無し。

(教育長) 委員に議案第10号、第11号について諮る。

委員全員賛成により、議案第10号、第11号は承認される。

(3) 議案第 12 号 二宮町文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則(案)について
(生涯学習課長) 二宮町文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則(案)について資料に
基づいて説明

意見等特に無し。

(教育長) 委員に議案第 12 号について諮る。
委員全員賛成により、議案第 12 号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 予備費充用および予算流用について (報告)

— 非公開 —

(2) 令和元年度二宮育英会奨学生の選考結果等について (報告)

— 非公開 —

(3) 町営山西プール水遊び用おむつ着用利用日の設定について (報告)

(生涯学習課長) 町営山西プール水遊び用おむつ着用利用日の設定について、資料に基
づいて説明

(4) 小中一貫教育校設置計画案意見交換会について

(教育総務課長) 小中一貫教育校設置計画案意見交換会について説明

- (原委員) 5月18日の一色小学校区地域再生協議会主催の「こうりゅう塾」では教育関係者として、まず「小学校と中学校の違い」を理解していただき、その上で小中一貫教育について考えましょうということをお話しました。今回の説明会でも同じように、町の教育に関してきた者としてお話したいと思います。
- (教育長) 小中一貫教育について御存じない方にも意見交換会に来ていただきたいと思っています。地区の方に来ていただいて、様々な声を聞く場として意見交換会を捉えています。意見交換会を経て計画案の修正を行うつもりでいますし、柔軟な姿勢で意見交換会に望んでいきましょう。
- (教育部長) 「教育委員会での合意形成はできているの？」という声も聞いています。教育委員会議できちんと議論をして承認した案であることはきちんと示さなければならぬと考えています。
- (渡辺委員) これまでの議論を経て、色々な思いの詰まった計画案ができています。

まずそれを地域の皆さんに知っていただきたいと思います。6月議会を傍聴しましたが、「庁舎建設よりもまず学校」という意見、学校再編が先という意見が強いなど感じました。

○（岡野委員） 「魅力ある学校教育をつくっていききたい」というメッセージがまずあります。根本にあるのはどういう考えかということが伝われば、目指す方向に進んでいけるのではないのでしょうか。

○（教育総務課長） 地区長連絡協議会で4月、6月の2回にわたって計画を説明しました。6月の説明後は「小中一貫教育にデメリットはないのか」という意見も出てきました。

意見交換会では最初に教育委員会の方針をわかりやすく説明できるように準備を進めます。

○（教育長） コミュニティ・スクールが始まって、各学校の地区で学校運営協議会委員の皆さんがこれからどうやって進めて行こうかという話になっています。県の動きですが、高校の改革の流れで、コミュニティ・スクールがまず出てきました。高校を卒業して社会に出て行くときのギャップをなくすため、高校と地域の連携、高校を変えていきたいと思います。そして、小中学校へもコミュニティ・スクールの取り組みが広がってきました。しかし、従来から「地域との連携」はあったわけです。今、制度として新しく出てきましたが、元々、二宮町で脈々とやってきたものがあります。現在は過渡期ですが、迷うことなく、これまであったつながりを大事にしていきたいと思います。不易流行の「不易」という部分、守らなくてはいけないところは大切にしましょう。先日町長とも話しましたが、町としての大きな流れ、さらに先を見越した流れを考えると、50年後には二宮町の学校はひとつになっていくかなと思います。

○（原委員） 先ほど、地区長への説明の際に小中一貫教育のデメリットについて話が出たということでしたが、他にどんな質問がありましたか。

○（教育部長） 「小中一貫をやって、良くなる確証はあるのか」という質問や、既に導入している自治体はどこかという質問がありました。

○（岡野委員） 小中一貫教育に関しては人間関係の固定化と思い通りに成功するのかの二点が大きな疑問点として出るようですね。

○（原委員） 箱根町が分離型の小中一貫教育を取り入れています。中学校の音楽の先生が兼務で小学校に行くようになって、合唱の中身がガラッとかわったというような具体的な効果を聞きました。

○（教育部長） そういう例を色々と示せると良いと考えています。

○（教育総務課長） 小中一貫でいじめの件数が減るのかという質問もでていました。

○（原委員） 埼玉県春日井市の例を文部科学省の方のお話で聞きました。地域との交流を小中学校で集中的に取り組んだということでしたが、学力向上といじめ不登校

の減少は確実に見られたというお話でした。データとして出ているものはないようでしたが、問合せたらあるかもしれませんが。

- （教育長） 分離型になると教員の行き来の負担が懸念されます。箱根町ではテレビ会議をしたりしているようです。そういうものを導入できないのかなと思います。

（５）その他

－ 平成31年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会報告 －

（原委員）平成31年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会について、出張報告。

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

6. 閉会宣言

（教育長）令和元年度6月教育委員会議定例会を終了いたします。

11時31分 閉会